

10 沿道修景の植栽花木等

(1) 樹木選びのポイント

①病虫害のないもの

葉に黒褐色などの斑、点があるもの、虫のついているもの、茎に穴が空いて虫のフンの跡のあるもの、表皮がむけているもの、根にコブがあつたり色が変わっているもの、既に現在病気であつたり虫に冒されているものはやめましょう。

②徒長していないもの

日が当たってガッチリとしたものに将来性があります。

③つやのあるもの

葉がしおれたり色の悪いものは避け、元気なつやのあるものを選ぶようにしましょう。

④根は細かいものが多いものを

樹によって異なりますが、ゴボウのような太い根がずっと伸びているだけのものは根として吸収がよくないもので、植え傷みのあるものです。

根が土にしっかり抱いているもので、固まりになっているもの、即ち鉢を形成しているものが適しています。

(2) 主な路線の植栽花木の経緯

①国道 268 号 高岡～小林間

昭和 48 年に小林市夷守台で開催された全国植樹祭前に植栽。春の開催であったことから、春の花主体となった。このことが、その後の小林沿線の花として定着した。

(コブシ、モクレン、レンギョウ、オオデマリ、コデマリ等)

②国道 219 号

西都原古墳群への観光客を意識した植栽。

(カラタネオガタマ、クチナシなどの香りのある花)

③国道 218 号 延岡市北方町のやぶ椿。

延岡市北方町はやぶ椿が多く、道路で見せたいとの地元要望により、五ヶ瀬川沿いに植栽。やぶ椿の花色は一般に赤であるが、岡本やな入り口に白つばき 1 本あり。

④国道 218 号 日之影バイパス～五ヶ瀬

秋の紅葉を意識。ナンキンハゼ、アベリアの組み合わせに、夏のムクゲを採用。

全県下で最も当初の植栽地が大事に守られている。

⑤国道 10 号 宮崎市富吉バイパスのナンキンハゼ

もともと宮崎駅前高千穂通りの副道にあつたもので、シンボルロード事業による車線変更のため移植。

⑥国道 222 号 日南市酒谷のホルトノキとナンキンハゼ

国道 222 号の油津の街路樹としてあったが、南国的な景観形成のために樹種変更の要望があったことから、シマトネリコに後を譲り山間地に移植。地元からも受け入れられ順調に成長している。

ちなみに、現在日南市内油津～吾田間国道 222 号のシマトネリコは野球のバットの材料となるアオダモと同属であり、直立し成長も遅く花もきれいであることから採用されたが、そのきっかけは、同市にキャンプする広島東洋カープを意識したものでもあり、地元では「バットの木」と呼んで親しまれている。

⑦県境植栽

国道 10 号 北川町鑑、都城市、国道 220 号 串間市、国道 221 号えびの市、
国道 268 号えびの市

昭和 54 年に宮崎県で開催された国民体育大会前に、県外からのお客さんを歓迎する意味で県境に植栽



主要地方道 日知屋財光寺線（日向市大字日知屋 細島港付近）

(3) 沿道修景用の主な樹木

(◆印は亜熱帯植物)

1 / 8



◆アオリユゼツラン(ヒガンバナ科)

大形の多年生常緑草木で、茎長は2mぐらいになる。花は淡黄色で正開しない5~6月に開花する。

原産地 メキシコ



●アカバナマンサク(マンサク科)

落葉高木で山地で一番先に咲くことから「まず咲く」がまんさくに転訛。高さは5~6m程度になり、2~3月頃、細長い花弁が4枚で長さ1~1.5cmの紅色の花を咲かせる。

原産地 日本



●アジサイ(ユキノシタ科)

落葉灌木で、高さ1.5~2mぐらいになる。花は球状の花団をなし、花色は開花の当初は緑色であるが順次白色となり、正開すれば碧色となり6~7月開花する。

原産地 日本



●アベリア(ツクバネウツギ)(スイカズラ科)

半落葉灌木で、高さ1~2mぐらいになる。花は長さ2.5cmぐらいの漏斗状花で、当の時は桃赤色であるが、開花すれば白色となり8~10月に開花する。

原産地 中国



◆アメリカデイゴ(マメ科)

落葉喬木または灌木で、高さ5~10mぐらいになる。花は鮮紅色ないし暗桜赤色で7月~10月までに2回開花する。

原産地 ブラジル



●イヌツゲ(モチノキ科)

常緑低木で、葉は長さ1~3cm、花は5~6月に咲き、果実は秋に黒く熟する。通常は低木であるが、5mほどにも高くなることもある。

原産地 日本、朝鮮半島



● オオデマリ(テマリバナ)(スイカズラ科)
落葉灌木、高さ3mくらいに達する。花は白黄色で花序の直径は7~10cmもあり球状をなし5~6月開花する。
原産地 日本、台湾



◆ カナリーヤシ(通称フェニクス)(やし科)
常緑喬木で、高さ20mくらいになる。幹には葉痕が残る。葉は幹頂に数多く発生し1板の長さは約4mに達する。雌雄異株で花は葉柄(召)間から出る。宮崎県木である。
原産地 カナリー島



◆ キョウチクトウ(キョウチクトウ科)
茎の高さ1mくらいになる。花は緑色で花は緋紅色丸弁巨大輪で夏から秋に開花する。
園芸品種
原産地 熱帯・亜熱帯アメリカ



◆ キョウチクトウ(キョウチクトウ科)
常緑大灌木で、高さ3~5mくらいになる。花は枝梢に集散花序につき桃色ないし常黄、白色等があり、7~8月に開花する。
原産地 インド



● キリンまつツジ(ツツジ科)
常緑低木で、4月から5月頃に小ぶりの花を開花させる。
花径は3cmまでで花色は薄いピンクから紅色まで変化に富む。
原産地 アジア・ヨーロッパ・北アメリカ



● キンメサキ(ニシキギ科)
常緑低木で、黄色の複輪の入る斑入りマサキで葉色が鮮やか。6~7月頃に葉緑色の花をつけ、枝や幹も緑色を帯びて明るい。
原産地 日本、中国



●クちなシ(アカネ科)
常緑灌木で、高さ2mくらいになる。花は径6～7cmの高盆状の白花を6～7月に開花する。
原産地 日本



●クロガネモチ(モチノキ科)
常緑喬木で、高さ2mくらいになる。花は淡紫色で、5～6月に開花するが、花より冬期の紅色果実が美しい。
原産地 日本、中国(本州中南部四国九州)



●コブシ(モクレン科)
落葉喬木で、高さ4～10mくらいになる。花は葉に先立って、3～4月ごろに白色のイロを着ける。
原産地 日本・朝鮮



●サザンカ(ツバキ科)
常緑小喬木または灌木で、高さ5mくらいになる。花は白花、淡紅色等があり、10～12月に開花する。
原産地 日本、中国



●サルスベリ(ミソハギ科)
落葉喬木で、高さ4～5mくらいになる。花は下方から咲き初め頂上に及ぶ、花色は通常紅色であるが白色であり、7月下旬から9月下旬に開花する。
原産地 南中国



◆サンゴシドウ(マメ科)
落葉灌木で、高さ2～3mくらいになるが原産地では、喬木となる。花は鮮深紅色で2～3個疎な総状花序に着き7月～10月まで2回開花する。
原産地 熱帯アジア



◆ ジャカランダ(ノウセンカズラ科)

落葉高木で、高さ3~15mくらいになる。花の色は淡い藤色で5~6月の満開時の姿は、その花の色と相まって神秘的に美しい。

原産地 アルゼンチン



● シャリンバイ(バラ科)

常緑性灌木で高さ約1mくらいになる。花は白色で5月に開花する。

原産地 日本(本州中南部の海岸)



● スイフヨウ(アオイ科)

半耐寒性落葉灌木で、高さ1.5~3mくらいになる。花は八重咲にて、朝は淡桃色または白色で日中は桃色、夕方には桃赤色に変わり8~9月に開花する。原産地 日本、中国



◆ ストレッチアレギネ(バショウ科)

常緑多年草で、花の姿から極楽鳥花と呼ばれている。花は、主に春と秋に開花し、環境によっては夏でも冬でも花を咲かせ、花持ちも長い。

原産地 南アフリカ



● ソテツ(ソテツ科)

常緑低木で幹は直径30cmくらい。樹高は2~5mに達し、葉は幹の頂上に四方に広がるようについでいる。6~7月に開花。

原産地 日本、中国南部



● ソメイヨシノ(バラ科)

落葉喬木で、高さ7mくらいになる。花は葉に先立ち3~4個が散形状に着生し、淡白色で4月に開花する。

原産地 日本、中国、朝鮮半島



● ツバキ(ツバキ科)

常緑性喬木で、高さ5～9mくらいになる。花は千重咲で全体に半球状となり淡紅色で2～3月に開花する。

原産地 日本



◆ デュランタイム(クマツツラ科)

常緑低木、小さな葉でこんもり仕上がり小さな紫色の花を房状に咲かせる。葉が淡黄緑色で6～10月に開花し、高さは30～300cm。

原産地 南アメリカ



◆ ハイビスカス(アオイ科)

常緑広葉低木で、最もよく知られている熱帯花木。6～9月に熱帯産らしい明るい感じの花が開花する。ハワイ州の州花でもあり、マレーシアの国花でもある。

原産地 東インド、中国南部、南太平洋諸島



● ハイビヤクシン(ヒノキ科)

常緑針葉樹で、幹や枝が地面を這うように面的に広がる地被類。性質が強健であり、洋風、和風を問わず使用される。

原産地 日本、朝鮮半島



◆ パキスタス(キツネノマゴ科)

寒さに弱い熱帯性の花木で、黄色く色づいた苞(葉の一種)がローソク状に細長く立ち上がり、その間から白くて細長い花を咲かせる。(6～10月)

原産地 中南米



● ハクモクレン(モクレン科)

落葉喬木で、高さ4～6mくらいになる。花は葉に先立って、3～4月ごろに大型の白色の花を枝端に着ける。

原産地 中国



●ハマヒサカキ(ツバキ科)

常緑低木で、10～2月に薄い黄緑色の小花を枝にかたまって咲かせる。光沢のある葉が外側に反り返り、日当たりの良い海岸の山に生える。

原産地 中国



●ハマユウ(ヒガンバナ科)

多年草常緑草本で、高さ50～60cmくらいになる。白色花を7～8月に開花する。県花である。

原産地 沖縄、日本(九州・四国・紀州)



◆パラポラチョウ(ノウゼンカズラ科)

幹がトックリ状に肥大することからトックリキワタ(徳利木綿)と呼ばれている。9～10月に百合状のピンクの花を咲かせ、翌春には実をつける。

原産地 ブラジル、アルゼンチン



●パンパスグラス(イネ科)

多年草で、茎は生し高さ3～6mくらいになる。花穂は白色にて絹糸状の毛を密生し長さ30～100cmの光沢のある大円錐花序をなし9～10月に開花する。

原産地 南部ブラジルアルゼンチン



●ピラカンサ(バラ科)

常緑広葉低木で、5月～6月に咲く白い小花とともに、秋に赤く果実が色づく。

原産地 ヨーロッパ南部、西アジア



●ヒラドツツジ(ツツジ科)

半常緑灌木、暖地では、常緑であるが寒地では殆んど落葉する。高さは3mくらいにもなる。花は枝端に通常2～3個繖形状に着き開花する。鮮紅色で正面に濃紅色の斑点があり5月に開花する。原産地 アジア、ヨーロッパ、北アメリカ



● ピロウ(ヤシ科)

常緑喬木で、高さ15mくらいになる。葉は大形で扇状円形、掌状に分裂し径1m余に達し、本県亜熱帯樹木の代表的樹種である。

原産地 日本



● フィリアオキ(ミズキ科)

常緑低木、艶のある大きな葉に様々な斑が入るのが特徴で、冬に実が赤く色づく。

原産地 日本



● フィリフェラオーレア(ヒノキ科)

常緑針葉樹で年間を通じて黄金色の枝垂れた葉をもち、冬に褐色を帯びる。本来は高木になるが、萌芽力もあり刈り込みにも耐えるので、0.2～1.0mの地被としての利用が多い。

原産地 日本



◆ ブーゲンビリア(オシロイバナ科)

つる性常緑小低木で、熱帯花木を代表する樹種である。適地ではよく茂り、花のように見える部分は苞で、実際の花は苞に包まれ、小さくてほとんど目立たない。

原産地 南アメリカ



● ペニウツギ(スイカズラ科)

落葉広葉低木で、高さ2～5mくらいになる。花は濃紅色で、5月～6月に小枝の先や葉の脇に密につく。

原産地 日本



◆ ペンタス(アカネ科)

5弁の星の形をした花が集まり、半球状の花房をつくる。耐暑性、耐病性が強く花期が6～10月と長い。

原産地 熱帯アフリカ、マダガスカル



● ムクゲ(アオイ科)

耐寒性落葉灌木で、高さ2~4mに達し高木状になることがある。花は直径7.5~10cmで通常桃色から堇色で8~10月に開花する。

原産地 小アジア



● ヤマザクラ(バラ科)

落葉喬木で、高さ15~20mくらいになる。花は白色または微紅色を帯びて、3~4月に開花する。

原産地 日本(本州中部以西)



● ユキヤナギ(バラ科)

落葉広葉低木で、3~4月に白色の小輪5弁花がしなやかな細い枝をうめつくすようにびっしりとつき、雪をかぶった柳を思わせる。

原産地 日本



◆ ランタナ(クマツヅラ科)

常緑低木で高温期によく生育する。うまく育てば2m以上の高さになる。7~11月の夏から秋にかけて、長期間、黄色やオレンジの小花が手まり状に咲き、咲き進むにつれ紫色に変わる。

原産地 熱帯アメリカ



● レンギョウ(モクセイ科)

落葉広葉低木で、3月~4月ごろ葉の出る前に花径2~3cmの明るい黄色の花が枝にびっしりとつく。日本の早春を代表する花のひとつ。

原産地 中国



◆ ワシントンアパーム(ヤシ科)

喬木性椰子で、高さ30mくらいになり、街路樹及び修景樹木として利用されている。

原産地 北米・メキシコ

(4) 沿道修景用の主な草花

1 / 6

 <p>名 称: アークトチス 科 名: キク科 花 期: 5～7月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 半耐寒性一年草</p>	 <p>名 称: アイスランドポピー (シベリアヒナゲシ) 科 名: ケシ科 花 期: 3～5月 原産地: ヨーロッパ、アジア 特 徴: 耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: ヘデラ・ヘリック(アイビー) 科 名: ウコギ科 花 期: ー 原産地: 欧州、西アジア 特 徴: 常緑低木、強健</p>
 <p>名 称: アキランサスレッド (アルテナンセラ) 科 名: ヒユ科 花 期: 5～11月(葉の観賞) 原産地: メキシコ、南米 特 徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: アゲラタム ブルーハワイ (カッコウアザミ) 科 名: キク科 花 期: 5～11月 原産地: メキシコ 特 徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: アリッサム 科 名: アブラナ科 花 期: 11～5月 原産地: 欧州 特 徴: 耐寒性、1、2 年草</p>
 <p>名 称: アルテルナンテラ 科 名: ヒユ科 花 期: 9～10月 原産地: ブラジル 特 徴: 常緑低木 非耐寒性多年草</p>	 <p>名 称: インパチエンス (アフリカハウセンカ) 科 名: ツリフネソウ科 花 期: 4～11月 原産地: タンザニア～モザンビーク 特 徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: ガーベラ 科 名: キク科 花 期: 5～10月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 半耐寒性、多年草</p>

 <p>名称: ガイラルディア イエローブルーム 科名: キク科 花期: 6~10月 原産地: 北米 特徴: 耐寒性強 1~2年草</p>	 <p>名称: カレンジュラ アリスイエロー (キンセンカ) 科名: キク科 花期: 3~6月 原産地: 地中海沿岸 特徴: 成長早く強健、一年草</p>	 <p>名称: キバナコスモス オレンジロード 科名: キク科 花期: 6~11月 原産地: メキシコ 特徴: コスモスより草丈低い 耐暑性強、強健</p>
 <p>名称: キンギョソウ 科名: ゴマノハグサ科 花期: 4~7月 原産地: 地中海沿岸 特徴: 耐寒性多年草 (園芸上は一年草)</p>	 <p>名称: キンケイギク 科名: キク科 花期: 7~9月 原産地: 北アメリカ 特徴: 草丈 50~60 cm 乾燥に強く過湿嫌う</p>	 <p>名称: クリサンセマム・ノースポール 科名: キク科 花期: 1~5月 原産地: 地中海沿岸 特徴: 半耐寒性、一年草</p>
 <p>名称: ケイトウ キモノレッド 科名: ヒユ科 花期: 7~11月 原産地: 熱帯アジア、インド 特徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名称: コスモス(アキザクラ) 科名: キク科 花期: 5~11月 原産地: メキシコ 特徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名称: コリウス(ニシキジリ) 科名: シソ科 花期: 4~11月(葉の観賞) 原産地: マレーシア、東南アジア 特徴: 非耐寒性 一年草または多年草</p>

 <p>名 称:サルビア ピクトリアブルー 科 名:シソ科 花 期:7～11月 原産地:北アメリカ 特 徴:春播き一年草 耐暑性強</p>	 <p>名 称:サルビア(ヒゴロモソウ) 科 名:シソ科 花 期:5～11月 原産地:南アメリカ 特 徴:耐寒性～非耐寒性 一年草または多年草</p>	 <p>名 称:ジニア プチランドオレンジ (ホソバヒヤクニチソウ) 科 名:キク科 花 期:4～11月 原産地:メキシコ 特 徴:非耐寒性、一年草</p>
 <p>名 称:シロタエギク シリウス (ダスティーミラー) 科 名:キク科 花 期:周年(葉の観賞期) 原産地:地中海西部～中部 特 徴:耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称:シロタエギク シルバーダスト 科 名:キク科 花 期:10～5月、3～6月 原産地:地中海沿岸 特 徴:耐寒性強 葉が銀白色</p>	 <p>名 称:スイートアリッサム イースターホネットディープピンク 科 名:アブラナ科 花 期:10～5月 原産地:地中海沿岸 特 徴:耐寒性、1,2年草</p>
 <p>名 称:ストック キスミーチェリー (アラセイトウ) 科 名:アブラナ科 花 期:11～5月 原産地:南ヨーロッパ 特 徴:耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称:ゼラニューム(テンジクアオイ) 科 名:フロソウ科 花 期:4～6月、9～12月 原産地:南アフリカ 特 徴:半耐寒性 一年草、常緑多年草</p>	 <p>名 称:センニチコウ ローズネオン (センニチソウ) 科 名:ヒユ科 花 期:5～11月 原産地:熱帯アメリカ 特 徴:非耐寒性、一年草</p>

 <p>名 称: ダリア 科 名: キク科 花 期: 6～11月 原産地: メキシコ 特 徴: 半耐寒性、球根植物 多年草</p>	 <p>名 称: デイモルハウセンカ 科 名: ツリフネソウ科 花 期: 7～9月 原産地: インド、マレー半島 特 徴: 一年草</p>	 <p>名 称: デイジー(ヒナギク) アーリーボンポネットレッド 科 名: キク科 花 期: 3～5月 原産地: 欧州～アジア西部 特 徴: 耐寒性、一年草</p>
 <p>名 称: ナデシコ テルスターミックス 科 名: ナデシコ科 花 期: 4～7月、10～12月 原産地: 欧州、アジア、アフリカ 特 徴: 耐寒性、多年草</p>	 <p>名 称: バーベナ(ビジョザクラ) 科 名: クマツヅラ科 花 期: 5～6月、9～11月 原産地: 南アメリカ 特 徴: 耐寒性、多年草、一年草</p>	 <p>名 称: パキスタキス(ウコンサンゴ) 科 名: キツネノマゴ科 原産地: メキシコ、ペルー 花 期: 6～11月 特 徴: 非耐寒性 低木(熱帯花木)</p>
 <p>名 称: ポーチュラカ (ハナスベリヒユ) 科 名: スベリヒユ科 花 期: 6～10月 原産地: インド 特 徴: 非耐寒性、多年草</p>	 <p>名 称: ハナナ(ナノハナ) 科 名: アブラナ科 花 期: 12～5月 原産地: ヨーロッパ 特 徴: 耐寒性一年草、強健</p>	 <p>名 称: ハボタン 科 名: アブラナ科 花 期: 3～4月 原産地: ヨーロッパ西部 特 徴: 耐寒性 一年草または多年草</p>

 <p>名 称: パンジー (サンシキスミレ) 科 名: スミレ科 花 期: 10～5月 原産地: ヨーロッパ、アジア 特 徴: 耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: ピオラ 科 名: スミレ科 花 期: 11～5月 原産地: 園芸品種 特 徴: 小型のパンジー、強健</p>	 <p>名 称: ヒマワリ ムンチキン 科 名: キク科 花 期: 5～9月 原産地: 北アメリカ 特 徴: 非耐寒性、一年草</p>
 <p>名 称: ベコニア 科 名: ショウカイドウ科 花 期: 4～7月、9～11月 原産地: ブラジル 特 徴: 半耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: ペチュニア(ツクバネアサガオ) 科 名: ナス科 花 期: 5～6月、9～11月 原産地: 南米の熱帯～暖帯 特 徴: 非耐寒性 一年草、常緑多年草</p>	 <p>名 称: ベンジウム (カンザキジャノメギク) 科 名: キク科 花 期: 3～4月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 半耐寒性、一年草</p>
 <p>名 称: ペンタス(クササンタンカ) 科 名: アカネ科 花 期: 4～11月 原産地: イエーメン～東アフリカ 特 徴: 半耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: マリーゴールド (マンジュギク) 科 名: キク科 花 期: 3～6月、9～11月 原産地: 米大陸の熱帯～温帯 特 徴: 非耐寒性、一年草</p>	 <p>名 称: メランポディウム 科 名: キク科 花 期: 5～11月 原産地: メキシコ 特 徴: 非耐寒性、一年草 夏花壇向き</p>

		
<p>名 称:リナリア (ヒメキンギョソウ) 科 名:ゴマノハグサ科 花 期:11～6月 原産地:モロッコ 特 徴:耐寒性、一年草</p>	<p>名 称:ルドベキア(オオハコソウ) 科 名:キク科 花 期:6～10月 原産地:北米 特 徴:耐寒性 一年草または宿根草</p>	<p>名 称:日日草(ピンカ) 科 名:キョウチクトウ科 花 期:5～11月 原産地:マダガスカル 特 徴:非耐寒性 一年草、常緑低木</p>



国道268号 小林市野尻町 紙屋

(5) 沿道修景用の主な宿根草

1 / 2

 <p>名 称: アークトセカ 科 名: キク科 花 期: 5~7月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 草丈 15~20 cm 花の大きさ 4~5 cm</p>	 <p>名 称: アガパンサス 科 名: ユリ科 花 期: 6~7月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 耐寒性強 涼しげなブルーの花</p>	 <p>名 称: アカンサス(ハアザミ) 科 名: キツネノマゴ科 花 期: 6~7月 原産地: 地中海沿岸 特 徴: 耐乾燥、耐寒性 ギリシアの国花</p>
 <p>名 称: イワダレソウ 科 名: クマツヅラ科 花 期: 5~10月 原産地: 亜熱帯地方 特 徴: 増殖早・高温性 ほふく性強・雑草抑制</p>	 <p>名 称: オオトリトマ 科 名: ツルボラン科 花 期: 5~10月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 耐寒性強 草丈 60~150 cm</p>	 <p>名 称: ガザニア(クンショウギク) 科 名: キク科 花 期: 5~11月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 半耐寒性 常緑多年草</p>
 <p>名 称: カラジウム 科 名: サトイモ科 花 期: 5~6月 原産地: 熱帯アメリカ 特 徴: 球根草・非耐寒性</p>	 <p>名 称: カレックス・エバーゴールド 科 名: カヤツリグサ科 花 期: 5~6月 原産地: ヨーロッパ 特 徴: 耐寒性常緑多年草 緑色の葉の中心が黄色</p>	 <p>名 称: スイセン 科 名: ヒガンバナ科 花 期: 1~4月 原産地: 地中海沿岸 特 徴: 耐寒性、強健</p>

 <p> 名 称: ツルニチニチソウ 科 名: キョウチクトウ科 花 期: 3～5月 原産地: 南欧州、北アメリカ 特 徴: 耐寒性 常緑ツル性植物 </p>	 <p> 名 称: ツワブキ フィリ 科 名: キク科 花 期: 11月 原産地: 日本、台湾、中国 特 徴: 耐寒性、常緑多年草 葉の観賞期(周年) </p>	 <p> 名 称: トロピカンナ 科 名: カンナ科 花 期: 6～9月 原産地: 東欧州～西アジア 特 徴: 半耐寒性多年草 </p>
 <p> 名 称: ニューサイラン (フォルミウム) 科 名: リュウゼツラン科 花 期: 6～7月 原産地: ニューゼーランド 特 徴: 耐寒性、常緑多年草 </p>	 <p> 名 称: ハマユウ(ハマオモト) 科 名: ヒガンバナ科 花 期: 7～9月 原産地: 熱帯～亜熱帯 特 徴: 常緑多年草 宮崎県花 </p>	 <p> 名 称: ヘメロカリス ステラデオロ 科 名: ユリ科 花 期: 6～7月 原産地: 欧州 特 徴: 耐寒性、強健 </p>
 <p> 名 称: マーガレットコスモス (モクシユングク) 科 名: キク科 花 期: 3～6月 原産地: 南アフリカ 特 徴: 常緑低木、半耐寒性 </p>		

(6) 沿道修景植栽花木、草花の花暦

花 木	鑑 賞 期											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ウメ		■	■									
コブシ			■	■								
レンギョウ			■									
ヒユウガミズキ			■	■								
ヒガンザクラ			■	■								
トサミズキ			■	■								
ネコヤナギ			■	■								
ゲンショウウ			■	■								
ソメイヨシノ			■	■								
キリシマトツジ			■	■								
モクレン			■	■								
ユキヤナギ			■	■								
トサミズキ			■	■								
オトメツバキ			■	■								
ボケ			■	■								
ヒガンザクラ			■	■								
モモ			■	■								
ヤマブキ			■	■								
キリ			■	■								
アセビ			■	■								
フジ				■	■							
ユデマリ				■	■							
ユツカ				■	■							
クチナシ				■	■							
バラ				■	■							
タイサンボク					■	■						
シヤクナゲ					■	■						
ザクロ					■	■						
サツキ					■	■						
アジサイ					■	■						
キョウチクトウ						■	■					
ツクバネウツギ						■	■					
ムクゲ						■	■					
ノーゼンカタラ						■	■					
ノリウツギ							■	■				
サルズベリ							■	■				
ハギ								■	■			
フヨウスイフヨウ								■	■			
ザクロ								■	■			
サザンカ									■	■		
ツバキ									■	■		
ナンテン										■	■	
センリョウ											■	■
マンリョウ												■
ツツブキ												■

草 花	鑑 賞 期											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
サフラン		■	■									
ツクジユソウ		■	■									
クロッカス		■	■									
アネモネ			■	■								
オキナグサ			■	■								
パンジー			■	■								
プロククス			■	■								
スイセン				■	■						■	■
チューリップ				■	■							
ヒヤシンス				■	■							
アルメリア				■	■							
プリムラ				■	■							
ムスカリ				■	■							
アイリス				■	■							
アリッサム				■	■							
カレンジュラ				■	■							
シラン					■	■						
ハナショウブ					■	■						
ハナビシソウ					■	■						
ロベリア					■	■						
ペゴニア					■	■						
シャガ					■	■						
グラジオラス						■	■					
ペニバナ						■	■					
カラジューム						■	■					
ジャスターデージー						■	■					
ケシ						■	■					
ホテイソウ						■	■					
キンギョソウ						■	■					
タチアオイ						■	■					
ダリア							■	■				
ガーベラ							■	■				
夏菊								■	■			
キキョウ								■	■			
ハス								■	■			
ポーチュカカ								■	■			
ベチユニア								■	■			
ジニア								■	■			
カンナ									■	■		
サルビア									■	■		
ニチニチソウ									■	■		
エゾギク									■	■		
アサガオ									■	■		
カンナ										■	■	
コギク											■	■
オミナエシ											■	■
パンパスグラス											■	■
コスモス											■	■
サンフラン											■	■
オキサリス											■	■
寒菊												■
雪割草												■
薬牡丹												■

(7) 植栽樹木の色々な性質

樹木名	紅葉する樹木			耐潮植樹			防火植栽		耐公害		
	紅	黄	新緑	最強	強	やや強	避	常緑樹	落果樹	強	弱
ハゼ	○										
ヤマウルシ	○										
ツタウルシ	○										
ヌルデ	○										
ニシキギ	○										○
ツリバナ	○										
ドウダンツツジ	○										○
サラサドウダン	○										
ミツバツツジ	○										
ゴヨウツツジ	○										
ウラシマツツジ	○										
ナナカマド	○										○
カマツカ	○										
ヤマザクラ	○										
カエデ類	○				○						○
カキ	○										○
ヤマブドウ	○										
ツタ	○										
トチ	○										
ヤマボウシ	○										
コナラ	○										
カシワ	○								○		
カラマツ		○									
ザクロ		○									
シラカンバ		○									
ダケカンバ		○									
イチヨウ		○		○					○	○	
マヤブキ		○									
カエデ (一部)		○									○
ニレ		○									
ヤナギ属		○							○		
落葉松			○								
アカメモチ			○								
モタコク			○								
アオキ			○		○					○	
ヤツデ			○					○		○	
シイノキ			○					○			
イチイ			○								
モミツガ			○								
トウヒ			○								
タチビャクシン				○							
ボケ				○							○
ムクエノキ				○							
クロマツ				○							
フランス				○							
海岸松				○							
ハイビャクシン				○							
イブキ				○						○	
ハマナス				○							
ネムノキ				○							
バمامクコク				○							
ヒメユズリハ				○							
ハマササキ				○							
ネズミサシ				○							
コノテガシワ					○						
ゴマノキ					○						
ジンチョウゲ					○					○	
マサキ					○						
シュロ					○			○			
アオギリ					○					○	
ニセアカシア					○				○		
エンジュ					○						
ケヤキ					○						○
ツバキ					○			○			
ネズミモチ					○					○	
モクコク					○					○	
シロダモ					○						
サンゴジュ					○			○		○	
ガジュマル					○						
カイツカイブキ						○				○	
イブキ						○					
ウバメガシ						○				○	
キョウチクトウ						○				○	
トベラ						○					
ヒイラギナンテン						○					
ユッカコウヤマキ						○					
グミ類						○					
スギ							○				○

	紅葉する樹木			耐潮植樹				防火植栽		耐公害	
	紅	黄	新緑	最強	強	やや強	避	常緑樹	落果樹	強	弱
ヒノキ							○			○	
サワラ							○				
サクラ							○				
モミ							○				
モクレン							○				
ヒマラヤシーダー							○				○
クス							○			○	
モモ							○				
アカマツ							○				○
クワ							○				
カイドウ							○				
サワミズキ							○				
ツルウメモドキ							○				
ヤブムラサキ							○				
カナメモチ							○				
カシ								○			
マテバシイ								○		○	
ユズリハ								○			
タラヨウ								○			
モッコウ								○			
モクセイ								○			
モチアオキ								○			
マサキ								○			
サカキ								○		○	
ヒサカキ								○		○	
サザンカ								○		○	
クスギ									○		
ナラ									○		
アベマキ									○		
ミズキ									○		
ボブラ									○	○	
キハダ									○		
シナノキ									○		
タイサンボク										○	
シラカシ										○	
シャリンバイ										○	
オオムラサキ										○	
イヌツゲ										○	
アセビ										○	
モチノキ										○	
ヒイラギ										○	
ナワシログミ										○	
ゲッケイジュ										○	
ヤブツバキ										○	
アベリア										○	
ザクロ										○	
チョウセンレンギョウ										○	
フジ										○	
オオシマザクラ										○	
ブラタナス										○	
シダレヤナギ										○	
サトザクラ										○	
イボタノキ										○	
カヤノキ										○	
イヌマキ										○	
ドイツトウヒ										○	
ヒムロスギ										○	
ユッカ										○	
ソテツ										○	
トウジュロ										○	
ワジュロ										○	
フェニックス										○	
ドラセナ										○	
アナナス類										○	
ヤシ類										○	
キリシマツツジ											○
ユキヤナギ											○
ウメ											○
イチジク											○
コブシ											○
アジサイ											○
ガクアジサイ											○
ライラック											○
ズミ											○
ナシ											○
キャラ											○
タギヨウショウ											○

(8) 植栽の方法と注意事項

◆植栽の適期

- 針葉樹 ①2月下旬～4月下旬(中でも3月中旬～4月中旬最良)
 ②9月～11月上旬
- 常緑潤葉樹 ①3月上旬～4月中旬(早春)
 ②6月上旬～7月上旬(晩春)
- 落葉樹 ①10月中旬～12月中旬(冬季自然落葉後)
 ②3月上旬～4月上旬(早春)

◆植樹をする際に留意すべき点

1) 冬眠中に植えかえること

木も生きものである。活動の最中にプツリと根が切られてしまっは、水分が廻らないというものである。唯、移植困難な赤松は「ミドリ」が少し伸び出した4月初・中旬が最もよく、檜は5月が一番よい。新芽が開いてまだ軟らかい間は避け、新葉がやや固まった入梅直前か、入梅中が第2の適期である。

2) 予め根廻しをしておくこと

あまり1ヶ所に長く置いていた木を他に移す場合には、細かい根が少く、移植した際に植え傷みのあることが多いものである。事前に細かい根を多く出させた上で、移植するようにしたいものである。植木屋の植え溜めの中でよく移植したり、根の廻りに鉢を残して、シャベルを入れているのも移植の準備である。

地下部の根は前記のとおり細かい根が殖え、地上部の枝葉からの水蒸気の発散に対処することができたとしても、何と云っても根は切られることは相当なものである。

この地下部の根の分担する葉に比較して、地上部の枝葉のバランスをとるようにするものである。

3) 養生

移植後に支柱、幹巻、泥塗りなどによって活着するよう大切にすることであるが、灌水等も定期的に行ったり根元を乾燥防止するため切藁、刈草などを敷くことも考えなければならない。

(永嶋正信著 環境緑化の資料と実例から引用)

(9) 樹木の移植及び植付適期

1 / 2

樹種	移植及び植付適期	樹種	移植及び植付適期
ア		クロガネモチ	3月～6月
アオギリ	10月～3月	クロマツ	1月～3月
アカシア	10月～3月	ケ	
アメリカハナミズキ	10月～3月	ケヤキ	11月～3月
アメリカデイゴ	3月中旬～9月	ゲッケイジュ	11月～5月
アオキ	10月～5月	コ	
アジサイ	5月～6月鉢植	コブシ	11月～3月
アセビ	10月～4月	コウヨウザン	3月～5月
アベリア	10月～4月	コデマリ	10月～4月
アケビ	10月～4月	ゴウヨウマツ	1月～4月
アザレツツジ	5月～6月鉢植	コウヤマキ	11月～4月
アカマツ	4月～5月	サ	
イ		サクラ	11月～3月
イチョウ	11月～3月	サワグルミ	3月
イスノキ	10月～5月	サカキ	3月～5月
イトヒキラン	3月～	サザンカ	10月～6月
イヌツゲ	9月～5月	サルスベリ	11月～3月
イヌマキ	9月～11月	サンゴジュ	3月～5月、11月
イブキ	3月～6月	ザクロ	12月～3月
イタリアポプラ	11月～5月	サツキ	11月～4月
ウ		サツキツツジ	11月～5月
ウバメカシ	3月～5月	シ	
ウメ	11月～3月	シイノキ	3月～5月
ウメモドキ	11月～4月	シマトリネコ	11月～4月
ウツギ	11月～5月	シュロ	6月
ウンリュウヤナギ	11月～3月	シュロチク	4月～6月
ウンゼンツツジ	11月～4月	シャリンバイ	11月～6月
エ		シダレヤナギ	11月～3月
エンジュ	10月～3月	シャクナゲ	3月～4月
エニシダ	3月～5月	シンパク	10月～5月
エリカ	12月～3月	ス	
エンコスギ	12月～3月	スギ	11月～2月
エノキ	12月～3月	セ	
オ		センダン	3月
オオゴンヒバ	11月～5月	センリョウ	3月～5月
オウヤマレンゲ	10月～11月発芽前	センジュラン	4月～6月
カ		ソ	
カイヅカイブキ	11月～5月	ソテツ	3月～9月
カシ	2月～4月	タ	
カイドウ	11月～3月	タイザンボク	3月～6月
カナメモチ	11月～3月	タケ	4月～6月
キ		タギョウショウ	1月～4月
キョウチクトウ	4月～6月	タマイブキ	11月～5月
キンシバイ	3月～5月	ダイオウショウ	1月～3月
キツタ	3月～5月	タチバナモドキ	4月～11月
ク		チ	
クスノキ	3月～6月	チンチョウゲ	3月～5月
クチナシ	11月～4月	ツ	
クコ	11月～3月	ツバキ	11月～6月
クサヅゲ	11月～4月	ツツジ	11月～5月
クジャクヒバ	11月～4月		

樹種	移植及び 植付適期	樹種	移植及び 植付適期
ツタ	11月～3月	ボケ	11月～3月
ツゲ	10月～5月	ボタン	9月～10月
テ		マ	
テイカカツラ	10月～5月	マサキ	9月～6月
ト		マキ	10月～5月
トチノキ	11月～3月	マツ	10月～5月
ドラセラ	4月～6月	マテバシイ	3月～5月
トベラ	11月～	マオラン	4月～6月
トウジュロ	4月～6月	マメツゲ	10月～5月
ドウダンツツジ	11月～3月	マルメロ	11月～2月
ナ		ミ	
ナンキンハゼ	3月～	ミヤマキリシマ	10月～5月
ナギ	3月～6月	ム	
ナンテン	11月～4月	ムクゲ	10月～3月
ニ		ムベ	10月～5月
ニシキギ	11月～3月	メ	
ニワウメ	11月～3月	メタセコイヤ	11月～3月
ネ		モ	
ネムノキ	3月～	モミノキ	10月～5月
ネズミモチ	10月～5月	モクセイ	10月～5月
ノ		モクレン	11月～3月
ノウゼンカツラ	11月～3月	モチノキ	10月～5月
ハ		モッコク	10月～5月
バショウ	4月～7月	モミジ	10月～3月
ハクサンボク	11月～5月	モモ	11月～3月
ハクチョウゲ	11月～5月	ヤ	
ハギ	11月～3月	ヤナギ	11月～3月
ハマヒサカキ	10月～5月	ヤマモモ	10月～5月
バラ	4月～5月	ヤツデ	10月～5月
ハイドラングア	10月鉢植	ヤマブキ	11月～3月
ハナモクレン	11月～3月	ヤマザクラ	11月～3月
ヒ		ユ	
ヒイラギ	10月～5月	ユリノキ	3月～
ヒイラギモクセイ	10月～5月	ユッカラン	4月～7月
ヒノキ	11月～4月	ユキヤナギ	11月～3月
ヒマラヤスギ	11月～4月	ユスラウメ	11月～3月
ビロウ	4月～6月	ユズリハ	10月～5月
ヒイラギナンテン	10月～4月	ラ	
ヒメクチナシ	10月～4月	ラカンマキ	10月～5月
ピラカンサス	10月～4月	ラクウショウ	3月～
ヒガンザクラ	11月～3月	ランタナ	5月
ビャクシン	11月～5月	リ	
ブ		リュウゼツラン	4月～7月
ブラタナス	11月～3月	レ	
フェニックス	4月～6月	レンギョウ	10月～4月
フヨウ	11月～3月	レンゲツツジ	3月～4月
フジ	3月～4月	ロ	
ボ		ロウバイ	11月～3月
ボプラ	11月～3月	ワ	
ホルトノキ	11月～5月	ワシントニアパーム	4月～6月

(10) 沿道修景植栽樹木等の管理ごよみ

1 / 2

種類	月												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
アジサイ						開花 アオバハゴロモ	整枝・剪定 施肥						
アベリア (ツバ・初咲)	整枝・剪定	施肥	開花	整枝・剪定	オオミズアオ			施肥			整枝・剪定		
アセビ				開花	オオミズアオ			オオミズアオ					シラカバ・アオ
オオデマリ コデマリ	整枝・剪定	施肥		開花	アブラムシ								
キンモクセイ	整枝・剪定	施肥		施肥	アブラムシ				開花				整枝・剪定
クロガネモチ		施肥	整枝・剪定	開花	アブラムシ、テッポウムシ					施肥			
クチナン	アブラムシ、カイガラムシ、ハマキムシ												
クスノキ	施肥	カイガラムシ	施肥	オオスカシバ			開花						
キョウチクトウ			整枝・剪定 施肥		コウモリガ カサシ幼虫	ミノムシ	開花		白葉枯病				
サクラ	整枝・剪定 施肥	アブラムシ、ケムシ	開花		アブラムシ、カイガラムシ								整枝・剪定 アブラムシ
サルスベリ	整枝・剪定 施肥	アブラムシ、カイガラムシ			アブラムシ、ケムシ		開花		施肥				整枝・剪定 アブラムシ
シャリンバイ	施肥				開花		整枝・剪定						
スキフヨウ ムクゲ		整枝・剪定 施肥		開花	ワタノメイガ、アブラムシ、ハマキムシ			開花	施肥				
ツツジ類		施肥			ツツジグンバイムシ、チャハマキムシ、シンクイムシ、ハダニ				施肥				

種類	月											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツバキ	開花			整枝・剪定					開花			
サザンカ	施肥	施肥		施肥	アブラムシ、チャドクガ、カイガラムシ、コガネムシ				施肥			
ハマヒサカキ		施肥								開花		
フユニッケ	ヤシオオオソウムシ、フザリウム菌											カイガラムシ
ワシントンニアバーム				開花	ミノムシ							カイガラムシ
ハナズオウ	整枝・剪定	施肥							施肥			
ミヤギノハギ	整枝・剪定	施肥			アメリカシロヒトリ、コガネムシ、マイマイガ				施肥			整枝・剪定
モクレン	整枝・剪定			開花								
ハナモクレン	施肥	カイガラムシ							施肥			カイガラムシ
コブシ	施肥				マネゴガネ、アブラムシ				施肥			整枝・剪定
ボケ	施肥	開花			うどんこ病				施肥			
アメリカデイゴ					ハダニ、アブラムシ、カイガラムシ、グンバイムシ				施肥			
サンゴシドウ	整枝・剪定											
バラボラチョウ	施肥			開花	カイガラムシ							
カエデ		施肥			うどんこ病							
セミジ					ミノムシ							整枝・剪定
												カイガラムシ

◆留意事項

- 1) 樹木の整枝・剪定に当たっては、設定された管理目標樹形（樹種の特徴、空間条件、剪定条件等を考慮）に合わせ、樹形の大きな樹木は強めに切り返し、小さな樹木は樹冠を軽く揃える程度で剪定し統一美を図ることが望ましい。
- 2) 薬剤散布については、基本的に虫の発生を確認してから散布を行うこととし、薬剤散布を行う場合は、散布前及び散布時に住民に對して、周知徹底を図ること。

(参考図書：「花の園芸大百科」 「庭木・花木の手入れとせん定」)